

# 巖念寺だより

年末年始号／令和二(2020)年



題字 大塚婉嬢 書

画 菅原篤

年末年始号／令和二(2020)年

## ●巖念寺新年会(修正会)の中止

毎年『巖念寺新年会(修正会)』を新年に予定しておりましたが、しかしご周知のようにコロナ禍の影響が懸念されるため(中止)とさせていただきます。  
恒例の落語や日本舞踊を楽しみながら、皆さんと一緒に新年を迎えることができないことは誠に残念です。

## ●山下忠総代のご逝去

誠に辛く残念なことでございますが、「山下忠」総代が急逝されました(八十一歳)。

秋彼岸にもご一緒にお参りして、大変お元気でいらしたので非常に驚いております。

退職後は仏教を本格的に学ぶために大正大学に修学され、その後、巖念寺の総代として約三年間ほどでありましたが、その間、巖念寺主催の仏教室や行事等にもご夫妻で盛んに参加され、ご助力やアドバイスをいただきました。  
誠に有り難うございました。

コロナ禍でありましたので、親族のみでご葬儀を執り行わせていただきましたことを御報告させていただきます。合掌



## ●ご奉仕・ご奉納御礼

秋のお彼岸から十一月中旬までに次の方々よりお手伝い・ご奉納をいただきました。心より御礼申し上げます。(順不同)

田村洋・恵子様 深山明様 川上よし子様  
武井健祐様 熊谷友七様 福村ひろみ様 その他

## ●ご懇志御礼

秋のお彼岸から十一月中旬までに次の方々より特別にご懇志を賜りました。心より御礼申し上げます。(順不同)

宮崎齋様 林充夫様 矢島敏郎様 松田英之助様  
沖山正樹様 杉本信子様 中根聡美(小守)様  
久保島喜久子様 内田總子様 関山哲哉様  
佐藤誠様 大野順子様 その他

## ●子ども支援御礼

次の方々から「たいとう子供フードパントリー(コロナ禍等による困窮する子供を抱えた家庭への支援活動)」へご寄付をたまり誠に有り難うございました。

なお、今後も毎月一回のペースで、巖念寺にてフードパントリーを継続してゆく予定です。引き続き皆様からのご支援・ご協力をどうか宜しくお願い申し上げます。

(八月より十一月末現在/順不同)  
齋藤幸久様 聖徳寺(横井徳恵)様 安倍(嶋野)幸子様  
田中直樹様 増野裕子様 井上健治様 岡宗一郎様(食器)  
武井健祐様 吉田恒治様 伊藤友子様 田中礼美様  
野沢正則様 武石美知子様 矢崎修・有理様 奥次郎様  
吉村奈都子様 寺田龍雄様 常田幸子様 みどり薬局様  
伯野知佐代様 今村静子様 倉品武文様 水谷修三様  
松下祐也様



■折り紙『万華鏡』  
作：武井健祐様

謹啓、師走の候。令和二年は、私たちにあってコロナ禍による未曾有の困難な年でありました。年の瀬を迎え、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

## ●年末年始のお知らせ

年末には**十二月二十一日(月)**からお参りの準備をいたしております。また、新年も元旦から休みなくお寺は開いておりますので、どうぞご参詣ください。

気持ちよく新年を迎えるために、お墓をきれいにお掃除して、年末・年始を私たちにとって大切なひと時にいたしましょう。お墓参りの際には本堂にもお参りください。  
※お墓の生花をご用意しておりますが、年始には生花店がお休みです。品切れの際はどうかご容赦ください

## ●令和三年の法事年回

令和三(二〇二二)年は、次の年にご逝去された方々の年回法要にあたっておりますので、御案内申し上げます。

一周忌	令和二年	二十七回忌	平成七年
三回忌	令和元年 (平成三十一年)	三十三回忌	昭和六十四年
七回忌	平成二十七年	三十七回忌	昭和六十年
十三回忌	平成二十一年	四十三回忌	昭和五十四年
十七回忌	平成十七年	四十七回忌	昭和五十年
二十三回忌	平成十一年	五十回忌	昭和四十七年

亡き人をしのび、私たちの生あることに感謝し、ご法事をお勤めください。

巖念寺

〒111-0042 東京都台東区寿1-11-2  
http://www.gonnenji.com

電話：03-3844-9383 FAX：03-3844-9393  
E-mail：gonnenji1253@gmail.com

# 結婚のご報告

この度、厳念寺副住職、菅原耀は上野ちひろと結婚することになりましたのでご報告申し上げます。本来であれば、本年度の報恩講にて皆様へご報告したいと考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、この「厳念寺だより」にてお伝えさせていただきます。

## ●副住職ご挨拶

平素よりご厚意を賜りまして誠にありがとうございます。厳念寺副住職の菅原耀です。厳念寺で生まれ育ち、僧侶となるべく京都の谷大学で仏教を学び始めました。その後は、私たちの生活における課題や「幸せ」とは何かを広く知るため「社会福祉」や「グリーンケア(悲しみ、苦しみへの癒やし)」について学び、現在は臨床宗教師(公共の場で活動する宗教者)として医療福祉施設にて傾聴(他者の話を聴くこと)活動も行っています。

今年で三十歳となりますが、振り返ってみると人の苦しみ・悲しみについて広く考える機会をいただきました。仏教は「与楽拔苦」「転迷開悟」という言葉があるように、「苦しみ」「迷い」が中心的な課題です。これは「苦しみから如何に自由になるか」、「苦しみが伴う人生に如何に向き合うか」という大きな問いであるように思います。この問いは、独りで向き合うにあまりに大きすぎるテーマです。自分ひとりの狭い見方だけでは、いつの間にか悪循環におちいり、生きていくのがつらくなってしまふことがあります。だからこそ、仏教では「僧伽(共に学び合う人間関係)」を大切にしてきたのでしょうか。私たちは苦しみ・悲しみの経験を通し、気づき・癒やしを得る力が備わっていますが、そのためには私たち一人ひとりがお互いに表現し合える「場」が必要であり、お寺はそのための器であつて欲しいと思います。今回の結婚を通し、この厳念寺がより気づきと癒やしの場となるようつとめて参りたいと思います。

合掌

## ●第五期「ケネス・タナカの仏教教室」

来年四月より「ケネス・タナカの仏教教室Ⅴ」をオンラインで開催いたします(別紙ご案内参照)。

二〇一七年に始まった仏教教室もはや五年目を迎えます。お陰様で年々、受講者が増えて、第四期は九十名以上になりました。コロナ禍の影響がまだまだ不透明でありますので、第五期も厳念寺を会場とせずにインターネットを介しての実施とさせていただきます。

新年度は、「親鸞」という鎌倉時代の仏教者に焦点を当てながら、ケネス先生ならではの視点から、私たちにとって大切で身近な「気づきの仏教」を、ユーモアも交えながら展開して下さるかと思存します。ケネス先生も皆さんと画面を通してお会いできますことを楽しみにしております。



## ●増野家ご奉納の阿彌陀仏像

お檀家の増野家からご奉納いただいた阿彌陀仏像を修復しました。江戸時代より長州藩の藩医でいらした増野家のご先祖が、江戸時代に東京(江戸)までお持ちになり、長年にわたり大切に参りしていらした有難い阿彌陀様です。仏師の石川恵観先生ご夫妻に美しく修復していただき、蓮の台座を新調し「きりかね」を施していただきました。入り口ロビーの仏壇に安置しておりますので、お越しの際は是非お参りください。



## ●新坊守ご挨拶

厳念寺のご門徒様、こんにちは。このたび、副住職のパートナーとなる上野ちひろと申します。私は奈良で会社員の両親のもと、二人姉弟の長女として生まれ育ちました(父は滋賀県信楽町、母は福井県小浜市の生まれです)。東大寺、平城京跡、薬師寺、唐招提寺などいずれも実家から自転車で行けるのどかな環境で育ちました。哲学を学びたいと考えていた高校時代、親鸞聖人に興味を持ち、龍谷大学に進学。卒業後は縁あつて寺院住職向け雑誌の出版社に就職し、全国津々浦々のお寺を今日まで取材して参りました。

さて、日本には多くの宗派がありますが、浄土真宗のお寺とはと考える時、最近思い出されるのが俳優・高倉健さんの言葉です。生前、ある雑誌のインタビューで「高倉さんが理想とする『美しき人』とは?」という問いに健さんはこう答えました。「多くの人があえぎながら生きて行く人生で、その人の心意気を垣間見た時、僕は美しいと感じます。美しさとは、他者に対しての優しさではないでしょうか」。懸命に生きる市井の人たちが笑ったり、泣いたりしながら、お寺で語り合い、そこで得たものを自分だけでなくまた他者の生きる力へと転じてきたのが浄土真宗のお寺かなと思うのです。

皆様の先祖が守り、支えてこられたその場を、これからも大切に育んでまいりたいと思います。副住職との縁を通じ、皆様との出会いをいただけることを嬉しく、ありがたく感じております。未永く、ご教導のほどよろしくお願い申し上げます。

合掌



■菅原耀(法名 釋耀了)  
大谷大学文学部真宗学科卒。社会福祉士・精神保健福祉士。上智大学グリーンケア研究所認定臨床傾聴士。  
好きなこと: 合気道

■上野ちひろ  
奈良県奈良市出身。龍谷大学文学部真宗学科卒。宗派を超えた寺院住職向け雑誌『月刊住職』編集記者。  
好きなこと: 読書、映画鑑賞、旅、歴史散歩、アウトドアなど

## ●令和二年活動報告(詳しくはホームページ参照)

### ▼ケネス・タナカの仏教教室Ⅳ(オンライン化)

今年で四年目となったケネス・タナカ先生による仏教講座。コロナ禍に伴い、講義はオンライン化、youtubeにて動画配信、講義録の配信も実施しました。

### ▼あつらプロジェクト:「よるてら」

月に一度、夜の本堂でしずかにコーヒを飲む細やかな企画。近所の方や通りすがりの方もふらつと立ち寄られます。

### ▼あつらプロジェクト:「みんなで作る下町絵本展」

ご縁のある方々に「子どもの頃に心に残っている絵本」と「いま大切な人に届けたい絵本」の二冊をその理由と共に教えて頂き、その数が百冊(五十人)に達したときに厳念寺で絵本展を開く催しです。  
※絵本を推薦して下さる方を募集中。お気軽にご連絡ください。

### ▼仏教コラム「誰そ彼のことば」

日々の生活の中で出会う誰かのことばを通し、仏教的な視点を交えつつ深め、味わっていく新コラムコーナー。厳念寺ホームページでもご覧いただけます。

### ▼厳念寺「フリースペース」事業

社会貢献を目的として活動する方に施設をお貸しするボランティア事業。: 能楽体験ワークショップ、ガールスカウトリーダー会議、台東区社協主催「地域つながり会議」、台東区保護司会会議など

### ▼たいとう子供フードパントリー(協力)

コロナ禍に伴い、子育て支援をしているNPO「たいとこネット」主催のフードパントリーを月に一度開催しています。来年度も継続していく予定です。

### ▼カードワークショップ「ココロスケープ」(協力)

グリーンケアグループ「ORIZURU」主催。「自分の支えを(再)認識・(再)発見するためのカードワークショップです。二ヶ月に一回の頻度で開催中。